

平成 29 年度 在宅チーム医療を担う人材育成研修まとめ

1. 今年度の取組

人材育成研修については、都筑区医師会地域多職種連携協議会（以下多職種連携協議会）の取組として、幹事会にて内容を検討し開催しました。

例年、多職種で構成されたグループで KJ 法を用いたグループワークを実施してきましたが、メンバーの経験やスキルによりグループでの検討の深さに差がありました。そのため、今年度は同職種をベースとしたグループ編成とし、共に難病の診断を受けた在宅で生活している夫婦の事例について話し合いました。①各職種が自分たちにできる役割について ②他の職種に期待する役割について、内容を全体で共有することにより多職種間の理解と連携を深める内容に変更しました。

2. 実施内容

●実施内容

- ◆日時：平成 29 年 11 月 14 日（水） 19 時 15 分～21 時 30 分
- ◆場所：都筑区役所 6 階大会議室
- ◆テーマ：事例を通してそれぞれの職種の役割を確認し、患者・家族をどのように支えるかを一緒に考える。
- ◆当日のスケジュール：

19:15～ 挨拶
19:25～ 本日の流れの説明
19:35～ 事例説明
19:50～ グループワーク
20:50～ グループ発表、まとめ
21:25～ アンケート記入、修了書
21:30 終了

- ◆参加人数 140 人

【内訳】

医師：9 名 歯科医師：3 名 薬剤師：11 名 看護師：18 名
ケアマネジャー：37 名 介護職：8 名 PT:14 名 OT:2 名 ST：1 名
相談員 11 名 包括支援センター：10 名 その他（歯科衛生士、管理者、
営業、サービス責任者、事務、課長）：8 名 見学者：1 名
行政職員：7 名

●アンケート結果など

◆アンケート結果 回収率 80.7% (回答者数 113名/140名中)

①研修についていかがでしたか？

| 非常に良かった | 良かった | どちらともいえない | あまり良くなかった | 良くなかった | 無回答 |
|---------|------|-----------|-----------|--------|-----|
| 39人 | 59人 | 8人 | 2人 | 0人 | 5人 |

- ・違う職種からの意見が参考になった。他の職種の考え方、視点を学ぶため、非常に良い機会だと思う。
- ・同じ職種の異なる視点を聞くことができて勉強になった。
- ・多職種のグループの方が、いろいろな立場の意見を聞けるのでよい。
- ・普段集まる機会がない職種なので、よい機会となった。

②今回の研修で新たな発見がありましたか？

| あった | どちらともいえない | なかった | 無回答 |
|-----|-----------|------|-----|
| 89人 | 15人 | 1人 | 8人 |

- ・多職種連携や情報共有の必要性を感じた。
- ・多職種の考え方や役割を知ることができた。
- ・知らなかった知識を得ることができた（歯科の早期介入の必要性、薬剤師の訪問、介護保険の仕組み、施設の役割など）。
- ・他の職種からの期待を知ることができた。
- ・難しい事例だった。医療サイドの見解を聞きたかった。
- ・医師も利用者の生活歴を踏まえた支援をしていることがわかった。

③研修に関する意見

- ・また多職種で意見交換する場に参加したい。
- ・今後のケースカンファレンスでは、今回の研修に参加していた職種に声をかけていきたい。
- ・定期的に多職種で事例検討を行うことは在宅を支える中で重要だと思った。
- ・困難事例をこのように解決した、または失敗したこと等、自身の経験談を話す場に興味がある。



3. 次年度に向けて

グループワークでの事例検討を続けて実施していますが、初めての参加者は交流に重点を置いた研修会への参加希望がみられます。研修の到達目標をどこに置くか、どのように評価するかなど、次年度の研修内容を多職種連携協議会幹事会で検討していきます。